

質問事項		選択式回答	記述式回答
<b>経済動向</b>			
1	<p>'2015年1月中旬から下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年10月中旬から下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。</p>	良くなっている	<p>円安での景気支え感が今まであったが、一方において輸入の原料高が足を引っ張っていた。しかしここに来て、急激な原油安、化学産業などにおいてはナフサの価格低下などが利益を下支えてプラスに働いている。この原料安が価格に反映されるには少し時間がかかることから今年度の第3四半期までにはプラスに働くことが期待される。</p>
<b>デフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組</b>			
2-1	<p>「経済財政諮問会議における今後の課題について」(平成26年12月27日経済財政諮問会議 甘利経済財政政策担当大臣提出資料)をご覧ください、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	-	<p>政府の施策における効果を図るためには必要なKPIを決めて、施策の実質的有効性を継続的に観測する必要がある。また働き方の効率化などに代表されるように企業内における業務プロセスの改革が極めて大切でありそのためにも企業のIT化の促進を徹底的に促進する必要がある。業務プロセスの見える化は新しいビジネスモデルを取り込むためにも必須でありそのためのインフラとしてのIT化を今から一層促進しなければ世界のスピードに追い付き追い越すことは難しい。</p>
2-2	<p>質問2-1でご提案いただいた取組について、その背景となる具体的な事例やモデルがあればご紹介ください。</p>	-	<p>社内の業務プロセスをIT化して、オフィスでの仕事を徹底的に改革することは生産性を高め、働き方の改革に大きな貢献を生み、多様な人材の活躍を促す基礎となる。この点に関して日本の企業は少なくとも世界と比較して20年近く遅れていると言える。ITの徹底的活用は農業の改革にも大きな貢献をすることが期待できる。</p> <p>別件になるが、日本の株取引所も5時間などという短い時間でなく少なくとも夕方の時間延長、また夜間取引などは早く実行するべきである。その為のコスト増を懸念する動きはあるが、全体の効率化を徹底して行う事により実現するべきである。</p> <p>ITが部門ごとの単なるTOOLとして使われるのではなく、情報共有、プロセス効率化、仕組みの変革のために貢献できるように戦略的道具としてより活用するように促進を徹底して行くことが必要と考える。</p>